顧客から調査が来たら(商社編)

chemSHERPAで情報伝達する事業者に 商社も含まれます やるべきことは製造メーカーと同様です

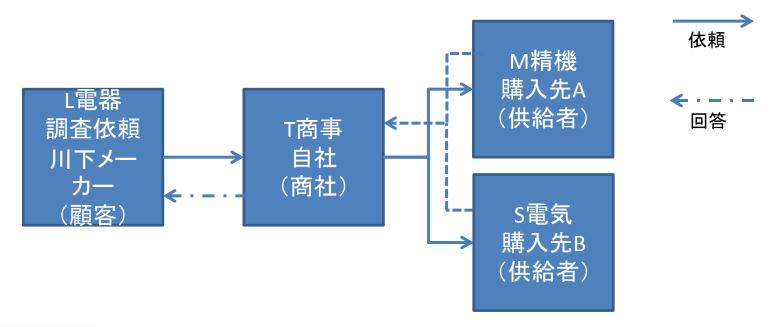
ファブレス事業者、受託生産事業者も同様です



川下事業者から調査が来たら(商社編)

事例

- 自社(T商事)が川下の顧客(L電器)からGear A, Controller A, Gear B, Controller B, Joint Cの5つの 製品の調査依頼があった
- これらの製品は、購入先A(M精機)と購入先B(S電気)から供給を受けているものとする





L電器から調査依頼が届く

□ chemSHERPA-AI(作成支援)ツール		基本情報画面	ToolVersion: chemSHERPA-A1.04.00		- 🗆 X					
ファイル 会社情報	言語(Language) ツ	ール		⊈ chem S	HERPA-AI					
■ 基本情報 画面 成形品ツール										
発行者・承認者情報	1		依頼者情報	☑ 依頼者情報の有/無						
整理番号 *				L00001						
	<yyyy-mm-dd></yyyy-mm-dd>		依頼日 ⋆	2017-12-01						
承認日 *	<yyyy-mm-dd></yyyy-mm-dd>		回答期限	2018-01-31						
項目	英語	日本語	伝達事項	□ 遵法判断情報のみ伝達						
会社名 *			項目	英語	日本語					
担当者名 *				L Electric Product Corp.						
コメント				Henri 13						
承認者名 *			依頼者コメント							
エリア	☐ IEC62474		エリア ☑ IEC62474							
製品・部品情報	☑ 製品情報 [② 管理情報 成分情報 成分情報 成 分情報	遵法判断情報	作成済データ引用	削除行追加					
	x頼者製品情報									
<mark>選</mark> 択 製品名	Δ 製品品番	Δ 製品名 Δ 製品品	番 Δ メ	一力名	₫ △ 質量単位 △					
	A00001	* *		*	*					
2 Controller A	A00002									
3 Gear B	A00003									
4 Controller B	A00004									
5 Doint C	B00001	_			<u> </u>					
ctrl+マウススクロールで拡				and there	<u> </u>					
trl+マウススグロールで拡大縮小 製品・前品情報の明細模△▽ボタンでソート コカ(依頼) 出力(依頼) 出力(承認)										

依頼者(L電器)製品情報と自社(T商事)製品情報を紐づけ

依頼者(L電器	引製品情報	自社(T商事)製品情報			
製品名	製品品番	製品名※	製品品番※	メーカー名	
Gear A	A00001	G-01A	G00001	M精機	
Controller A	A00002	C-01	C00001	S電気	
Gear B	A00003	G-01B	G00002	M精機	
Controller B	A00004	C-02	C00002	S電気	
Joint C	B00001	J-01C	J00001	M精機	

※自社(T商事)では自社製品名・品番を持たない場合、依頼者製品情報= 自社製品情報、又は自社製品情報=供給者製品情報とする。



同様にS電気への依頼ファイルを作成し送付

🔼 chemSHERPA-AI(作成支援)ツール		基本情報画面	ToolVersion: ch	nemSHERPA-A1.04.00	– 🗆 X				
ファイル 会社情報 言語(Language) ツール ChemSHERPA-AI									
■ 基本情報 画面 発行者: 承認者情報 (1)自社(T商事)情報入力									
発行者・承認者情報				いし日仕(1)日	サバト教人力				
整理番号 *				T00002					
作成日 *	<yyyy-mm-dd></yyyy-mm-dd>			2017-12-01					
承認日 *	<yyyy-mm-dd></yyyy-mm-dd>		回答期限	2018-01-31					
項目	英語	日本語	伝達事項	□ 遵法判断情報のみ伝達					
会社名 *			項目	英語	日本語				
担当者名 * コメント				* T Shoji corp. * Toyotomi1					
承認者名 *			143類自石	Toyotomii					
			エリア	☑ IEC62474					
エリア □ IEC62474			197						
製品・部品情報	☑ 製品情報	☑ 管理情報 成分	情報 遵法判断情報	作成済データ引用	削除行追加				
	依頼者製品情報								
選 択 製品名	Δ 製品品番	Δ 製品名 Δ 製		(一力名 Δ 質量	量 △ 質量単位 △				
	- 200000								
1 C-01	C00001	*	*		* *				
2 C-02	C00002								
14	III								
ctrl+マウススクロールで拡	大縮小	エラーチェック	一時保存	出力(依頼)	力(承認)				
	大縮小	エラーチェック	一時保存	出力(依頼)					

(2)調査依頼データを出力

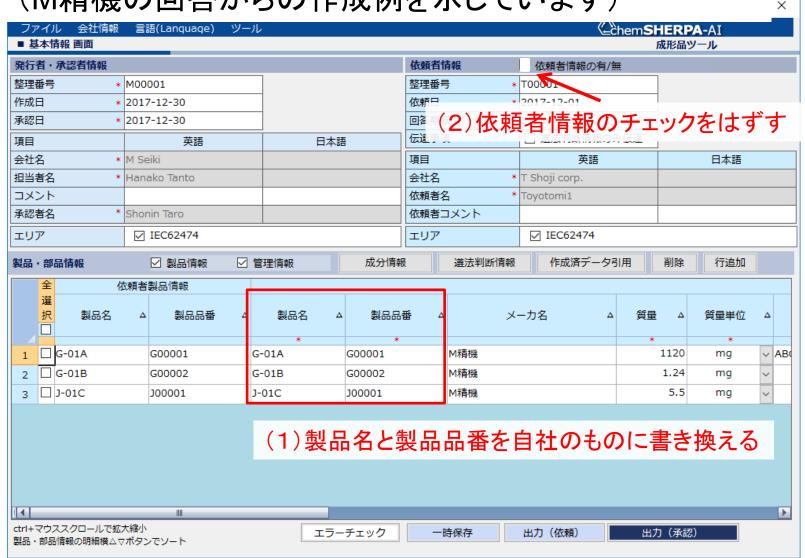


M精機、S電気から回答が来る



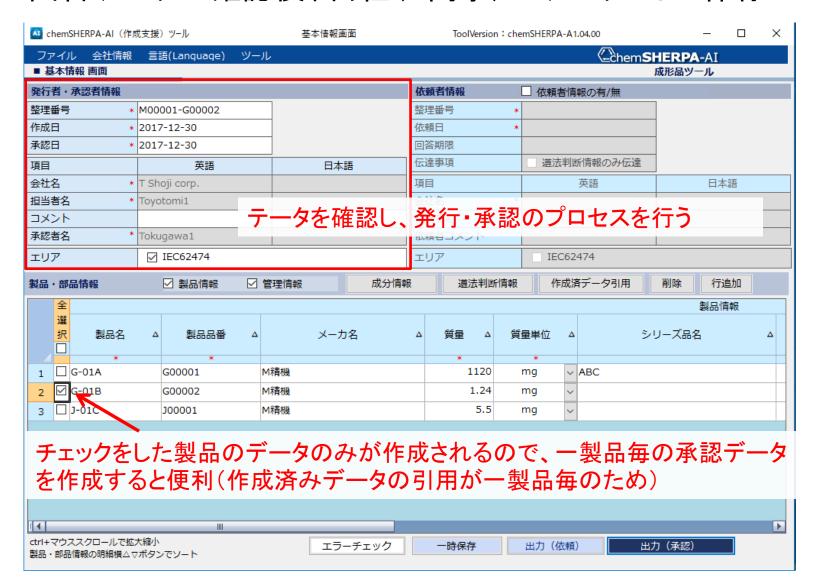


回答データの確認後、自社(T商事)のデータとして保存 (M精機の回答からの作成例を示しています)





回答データの確認後、自社(T商事)のデータとして保存





「作成済データの引用」を利用してL電器への回答を作成





実務フローの例

- 自社(T商事)では自社製品品番は持たずに顧客と購入先の 品番にて(紐づけで)管理してるんですが、、、
 →L商事に送るファイルには、顧客の品番に購入先の品番が 書かれるだけでやることは同じです。
- 購入先が顧客(L電器)の品番との紐づけが分かっているのですが、顧客からのファイルをそのまま送って(発行者・承認者情報は購入先の情報のまま)を記入済みのものをそのまま返したらダメですか、、、
 - →利用ルール(※)上、発行者・承認者情報は自社(T商事)情報にして情報伝達することになっています。これは、サプライチェーン間の責任ある情報伝達を確立するために重要なルールです。顧客からのファイルをそのまま利用する場合にも、発行者、承認者情報は、購入先の情報から自社(T商事)情報に変更し、自社(T商事)の責任のもとで発行する必要があります。

※「chemSHERPA製品含有化学物質情報利用ルール」: https://chemsherpa.net/chemSHERPA/doc/